

農林水産部安全農業推進課における主な食育の取組について

1 官民連携による食育活動の促進

(1) 食育プログラムの作成・配付 (P4 参照)

「ちば食育サポート企業」が実施する食育プログラムをポスターの形でとりまとめ、県内市町村や教育委員会、関係団体に配付する。各々の対象者が本プログラムを活用することで、食育活動を推進する。

① いきいきシニア食育プログラム (高齢者向け)

- ・対象はシニア層及びシニア層の生活支援者
- ・生活習慣病や低栄養傾向の予防等を目的に、令和元年度は9社(14プログラム)により構成。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から募集見合わせ

② 学校参加型食育体験プログラム (小学生～高校生版、保育所・幼稚園版)

- ・対象は小学生から高校生と保育園児・幼稚園児の2種類
- ・小学生～高校生版は13社(23プログラム)、保育所・幼稚園版は8社(12プログラム)により構成されており、様々な視点から食育を学ぶ。

(2) 元気な「ちば」を創る食育応援企業連絡会の開催

社会貢献活動の一環として、食育に取り組む企業間の連携による食育活動の活性化を目的に、ちば食育サポート企業(令和2年度8月末現在:102社)の有志企業36社により構成されている。

社会貢献活動としての食育活動や、その活性化に向けた情報交換、企業間やちば食育ボランティア等との連携による食育活動の実践等を行う。

(3) 食育月間(6月、11月)における啓発 (P5,6 参照)

県では、国が定めている6月と、さらに県内の旬の食材が最も豊富に出回る11月を「ちばを食べよう!ちばの食育月間」として、市町村・企業・ボランティア等と連携し、集中的に食育を啓発する。

また、県内各地で行われる食に関する様々な取組をとりまとめ、報道発表やホームページでの情報提供等を行い食育月間の周知を図る。

令和2年度6月の食育月間では「ちば県民だより」の特集ページに、グー・パー食生活や食品ロス等の記事を掲載した。

(4) ちば食育ボランティア研修会の開催

「ちば食育ボランティア」が地域での活動を円滑に実施できるよう開催する。

①基礎研修

基礎的な知識の習得、関係者のネットワーク構築を目的に開催

※今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、活動事例等を取りまとめた研修会資料を作成し、送付した。

②スキルアップ研修

専門的知識や啓発手法等、実践的な活動方法の習得を目的に開催

2 各種啓発資料の作成・配布

(1) 世代別（青年期向け・壮年期向け・高齢期向け）の啓発資料の作成・配布

世代別の課題に応じたきめ細かな食育を推進することとしており、それぞれの課題に応じた内容の啓発を行う。

- ① 内容 青年期向け ～野菜足りてますか？～
壮年期向け ～ふやそう野菜へらそう塩～
高齢期向け ～シニア世代の食育のすすめ～
- ② 配布部数：各 10,000 部 計 30,000 部
- ③ 配付先：市町村、県関係機関、ちば食育ボランティア等
- ④ 配布時期：11 月予定

(2) 「グー・パー食生活ガイドブック」改訂版（本編、資料編、概要版）の作成・配布

鮮度が高く栄養たっぷりでおいしい千葉県産の農畜産物や水産物を、上手に食事に取り入れたバランスのよい「ちば型食生活」を推進するための啓発。各基準の改正や新制度を反映させ改定する。

- ① 配布部数：本編 500 部、資料編 500 部、概要版 20,000 部
- ② 配付先：市町村、県関係機関
- ③ 配布時期：11 月予定

(3) 朝食摂食啓発ポスターの配布

児童・生徒を対象とした朝食摂取啓発ポスターを作成・配布する。

- ① 配布部数：1,000 部
- ② 配付先：小中学校、県立・私立の高校、特別支援学校
- ③ 配布時期：11 月予定

(4) 食育クイズ（冊子）の作成・配布

小学校高学年～中学校 1 年生程度を対象としたクイズ（冊子）を作成・配布する。

- ① 配布部数：8,000 部
- ② 配付先：小中学校、市町村、県関係機関、ちば食育ボランティア等
- ③ 配布時期：2 月予定

3 市町村食育推進計画の策定促進（P7 参照）

市町村が早期に食育推進計画を策定し、効果的・継続的な食育施策の推進が図られるよう、未策定等の市町村に対して策定支援を行う。

(1) 県内の市町村食育推進計画の策定状況

54 市町村のうち 48 市町村、策定率は 89%（令和 2 年 4 月 1 現在）

(2) 策定促進に向けた取組

① 健康増進計画等と一体的な策定の推進

2つの計画は相互の関連性が高いことから、両計画とも策定していない市町村及び健康増進計画を策定済みの市町村に対しては、両計画の一体的な策定に向けた検討を働きかける。

② 健康・農政・教育関係機関との連携促進

健康福祉センター・農業事務所等が連携し、地域食育推進会議を活用しての推進や必要に応じて市町村の健康増進・食育推進関連部局を参集した策定支援のための会議を開催し計画策定を促す。

③ 市町村食育推進計画策定支援マニュアルの活用

計画作成の手順等についてまとめたマニュアルの活用を図る。

4 H31 地産地消食育推進モデル事業 (P8, 9, 10 参照)

市町村等から農林漁業への理解促進など食育を推進する企画を提案してもらい、その企画を県が実施し、モデル的な取組として他地域へ波及させる。

対象者：栄養士等を目指す大学生等

内容：農林漁業体験、地元食材を使った調理実習、生産者との交流等

5 親子料理コンテスト (初開催) (P11 参照)

家庭における食育推進の働きかけとして行うもの。「忙しい朝でも簡単に作れる時短朝食」のオリジナル料理1品のレシピと写真を募集する。子供のころから朝食を家族とともに楽しく摂取することや、栄養バランス、地産地消、食に対する感謝の気持ちを意識できることをねらいとしている。

① 募集期間

令和2年8月3日(月)～令和2年11月30日(月)

② 参加対象

県内の保育園・幼稚園・学校に在籍または、在住の3歳～6歳児・小学校1年～4年生の児童と保護者

③ 募集内容

「忙しい朝でも簡単に作れる時短朝食」のオリジナル料理1品のレシピと写真

④ 募集条件

ア 子供が調理に関わること

イ 千葉県産食材を1つ以上入れて、地産地消を意識すること

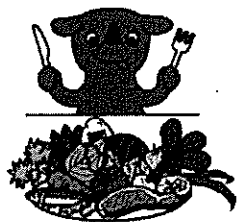
ウ 1品500円以内(2人分)で作れること

エ 調理時間は15分以内とすること

⑤ 応募方法

応募用紙をホームページよりダウンロードし、記入の上、写真3～5枚程度を添付して、郵送またはメールで提出。

応募受付専用メールアドレス：syokuikucon@mz.pref.chiba.lg.jp



「チーバくん」

令和元年10月29日
 農林水産部安全農業推進課
 043-223-3080
 健康福祉部健康づくり支援課
 043-223-2666
 教育庁教育振興部学校安全保健課
 043-223-4095

令和元年度 ちばを食べよう！ちばの食育月間について

県では、「ちばの恵みで まんてん笑顔」をキャッチフレーズに、新鮮でおいしい県産の食材を上手に取り入れた、バランスのよい食生活の実践を進めています。特に11月は、ちばの旬の食材が最も豊富に出回る時期であることから、「ちばを食べよう！ちばの食育月間」と定め、県内各地で食に関するイベントや講演会など様々な352の取組を展開します。

この機会に、一緒に「食」の大切さについて考えてみませんか。

1 実施期間

令和元年11月1日（金）～30日（土）

2 主な取組

(1) 「食」への関心や理解を深める取組

ア 地産地消食育推進モデル事業「おいしさいっぱい！ちばの恵み体験ツアー」(別紙No. 230)

期日：11月26日（火） 場所：銚子漁港ほか

主催：県安全農業推進課

内容：これからの食育推進リーダーとなる大学生等を対象に、農林漁業体験や地域との交流を通して、千葉県の豊かな「食」と「農」を身近に親しんでもらう企画です。今回は、魚市場の見学や魚食普及に向けた調理実習のほか、漁協女性部等と、「千葉のさかな」の魅力や消費拡大について意見交換を行います。



昨年度の様子

(あじさいねぎ調製作業体験)

(2) 子どもたちの健やかな育ちを支える取組

ア いきいきちばっ子「オリジナル弁当コンクール」(別紙No. 2)

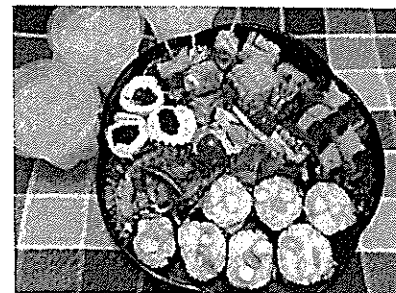
募集期間：8月1日（木）～11月20日（水）まで

募集対象：県内の学校に在籍または県内に在住の小学5・6年生

主催：県学校安全保健課

内容：食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」で学習し、献立を考えて、実際に自分で調理をしたお弁当のコンクールです。今年は、東京オリンピック・パラリンピックをテーマに、「食べる人への思いやねがい」「栄養バランスの工夫」など、個性を生かしたオリジナル弁当を募集しています。

入賞したお弁当は、作者や学校名とともに令和2年3月に公表し、ホームページに掲載されます。



優秀賞 (H30個人の部)

「千葉って実は農業県！千葉の恵み弁当」

イ 大平台（おおひらだい）フェスティバル（別紙：No. 223）

期日：11月29日（金）

主催及び実施場所：神崎町立米沢小学校

内容：地域のボランティアや社会福祉協議会の協力で開催される伝統行事として、今年で29回目を迎えます。

児童が地元の農家から指導を受け、栽培から収穫までを行った校産校消の食材（サツマイモ、ネギ、ニンジン、ダイコン、大豆、米）を、自ら豚汁やおにぎりに調理し、地域の方々と共に食し世代間の交流を醸成します。



昨年度の様子（調理・食事）

(3) 健全な食生活の実践に向けた取組

ア 千葉県産の食材を活用した食育教室

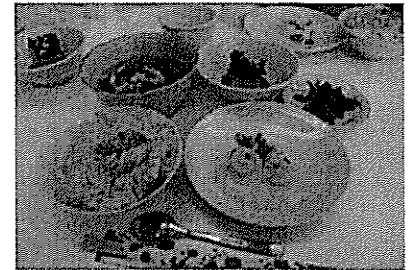
（別紙：No. 6, 276, 277, 290, 291, 292, 333）

期日：11月中

場所：京葉調理師学校 ほか

主催：（一社）千葉県調理師会及び各支部

内容：千葉県産の食材を活用し、健康づくりに配慮した献立作成、調理法の講習会を県内各地で開催します。



千葉県食材を活用した料理

イ “いざ” というとき役立つ 非常食！（別紙：No. 192）

期日：11月4日（月）

場所：白井総合公園 主催：白井市健康課

内容：白井市の防災イベント「防災くんれん」の参加者を対象として、食生活改善推進員等が備蓄用食料品を活用したレシピの紹介、カセットコンロとポリ袋を使用した非常食レシピの実演等を行います。



イベントにおける啓発の様子

(4) その他の取組

ア 「ちば型食生活」及び「朝食喫食率向上」を啓発するポスターの配布（別紙：No. 3）

内容：県では新鮮で種類が豊富な県産農林水産物を上手に食事に取り入れたバランスのよい「ちば型食生活」を実践する「ゲー・パー食生活」の啓発ポスターを作成し、市町村等に配布します。

また、20歳代の朝食喫食率が低いことから、食育活動に賛同する大塚製菓（株）と共同作成したポスターを県内の大学等に配布します。

配布を希望される場合は、県安全農業推進課まで御連絡ください。



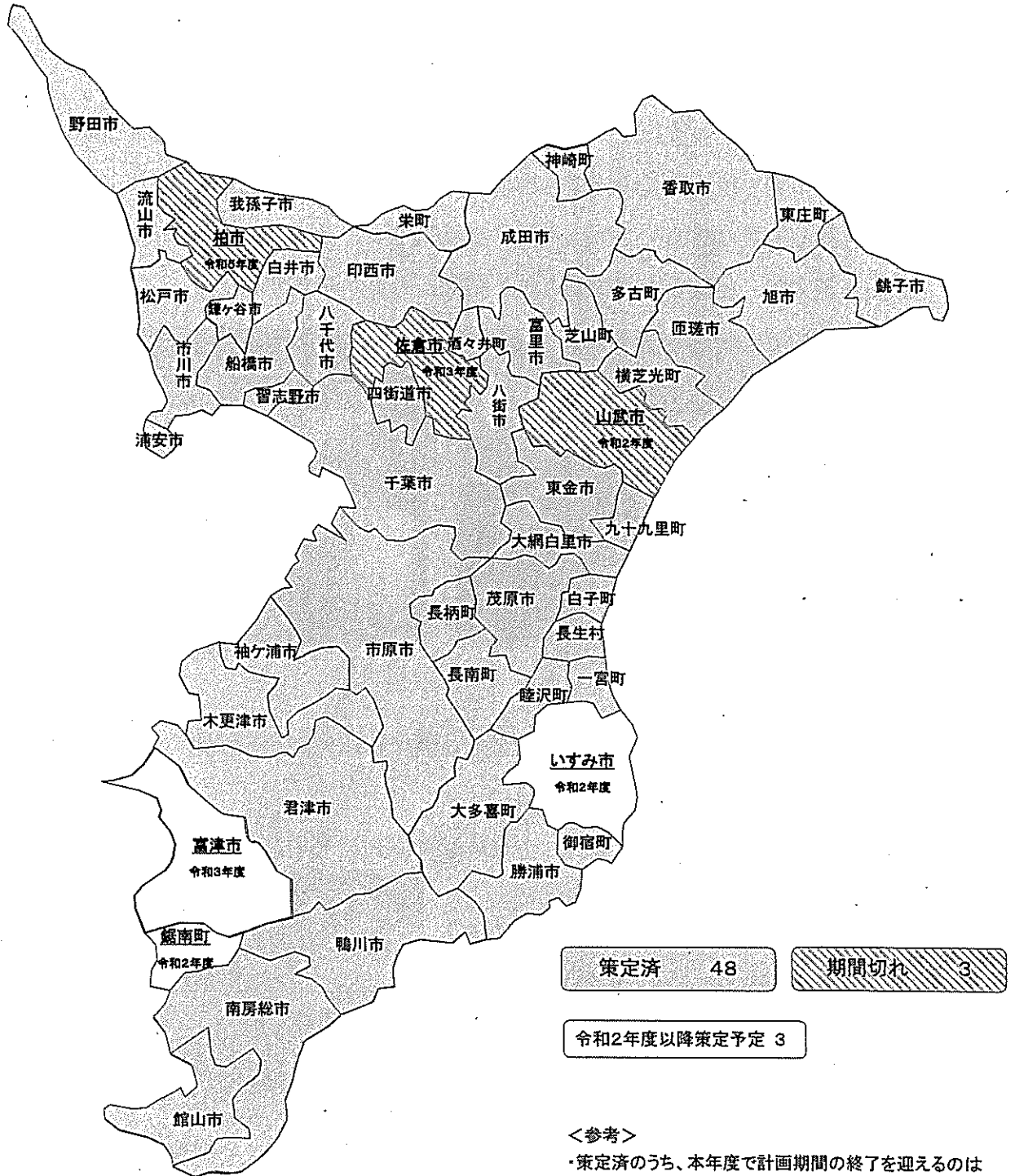
「ちば型食生活」啓発ポスター

3 問合せ先

個別の取材にあたっては、別紙「令和元年度『ちばを食べよう！ちばの食育月間』の取組予定一覧」の問合せ先に御連絡願います。

市町村食育推進計画の策定状況

※令和2年4月1日現在



策定市町村は48で、策定率は89%となる。

令和元年度地産地消食育推進モデル事業
おいしさいっぱい！ちばの恵み体験ツアー

「銚子で実感！新鮮丸ごと 千葉のさかな」魅力発見コース

- 1 日時 令和元年11月26日(火) 10:00~16:15
- 2 場所 銚子市漁業協同組合、銚子ポートタワーほか
- 3 参加者 20名(教諭1名含む)
- 4 内容

(1) 漁港・卸売市場見学

漁協担当者の説明を受けながら「高度衛生管理型施設」である第一卸売市場を見学。

第三卸売市場では、入札の様子を市場の外側から見学。また、隣接して設備されている漁船用の給油施設(燃油タンク)、を車内から見学。トラックスケール、停泊中のまき網船(網船、探索船、運搬船から構成される船団)も車から見学した。



水揚げがあるときは、階下に魚が見える



入札のようす

(2) 銚子ポートタワー見学

銚子ポートタワー展望室から市内を望む。銚子市水産課から漁港の整備等を説明。

(3) 調理実習

漁協女性部の指導のもと、銚子つりきんめの煮付け等を調理。



デモンストレーション



実習



実食



本日の昼食(参加者はキンメダイ丸ごと!)

(4) 事前説明

意見交換会（ワークショップ）の事前説明として、銚子水産事務所から銚子地域の水産業について説明。あわせて銚子市水産課からも説明。

(5) 意見交換会（ワークショップ）

4グループに分かれて、学生・漁協女性部・漁業士との意見交換を行ったのち、班ごとに、『銚子のさかな』のPRについて、意見交換の内容を発表した。

併せて、漁協外川支所青年部が持参したVRカメラ（360度、船上でキンメダイ漁を行っているところを見ることができる）を体験した。



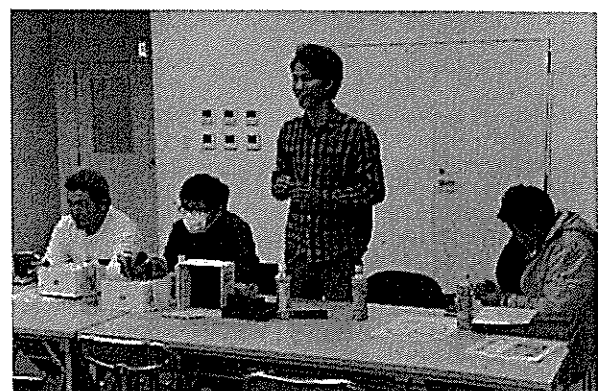
意見交換



発表



VRカメラを体験



銚子市漁協外川支所青年部の方

発表の概要

- ・ 現状の課題は、「きんめだいまつり」等をやっているのに知名度が低い。新しいお客を呼び込むために、近隣の学校・県内の学校にポスターを貼らせてもらうのはどうか。また子どもたちが来た時に体験できるようなものを用意するのはどうか。
- ・ 銚子は成田から近いので、輸出（貿易）を進めたい。
- ・ 情報発信の方法として、若い人にはインスタやSNSで、高齢者だったら広告や電車広告を実施してはどうか。
- ・ 簡単にできる調理法を紹介できれば、子どもを持つ親世代に訴求できるのではないか。
- ・ 学校とコラボして、学生の意見を取り入れて新商品を開発してはどうか。
- ・ タピオカの海藻バージョンを作ってみてはどうか。海藻はカロリーも抑えられていいんじゃないか。
- ・ やり方がわかっているならば、スーパーに行って魚を見た時に「自分でさばいてみよう」という意欲につながるのだから、このような機会をもっと増やしてほしい。

(漁業従事者から)

- ・ 魚離れしてしまっているが、A班で、キンメダイをさばいて勉強になったと聞いて、実際にやってみなければわからないと思った。今後、スーパーで魚を買って、できればキンメダイを買ってもらって、皆さんで料理を作ってもらいたいと思う。
- ・ 魚のPRということだが、銚子で何を食べてもらいたいかと言うと、やはりキンメダイを一番食べてもらいたい。今日は、地元の食べ方で調理してもらった。みなさん、スーパーでも魚屋でもよいので、銚子のキンメを買って食していただければ本望である。
- ・ 自分達の目標は銚子のキンメダイを知ってもらうこと。そのためにVR（船上での模擬漁師体験）を作成した。若い世代ならVRも広めやすいが、年配者にも見ていただけるよう頑張りたい。ツイッターやインスタでもフォローしていただけるとうれしい。

6 実施後の参加者アンケート（抜粋）

- ・ 漁港に来たことがなかったので、漁港の様子を見られてよかった。
- ・ 自分たちで考えて発表する時間もあり、ただ作って食べて終わりではなく、学習の面でもためになった。
- ・ 銚子の漁業事情をたくさん知ることができ、とても関心を持った。

令和2年度 千葉県

「親子料理コンテスト」大募集!

♪忙しい朝でも簡単に作れる時短朝食レシピと写真を募集します♪



チーバくん

ちばのめぐみを

朝からシャキッ!

しっかり 食べて

朝食を毎日食べる子供ほど
学力調査の得点が高い
というデータがあります



入賞者にはチーバくんグッズや
千葉県産食材をプレゼント!



募集期間: 令和2年8月3日(月)~令和2年11月30日(月)



参加対象: 千葉県内の保育所・幼稚園・学校に在籍している
または、千葉県内に在住している3歳児から6歳児
小学校1年生から4年生の児童とその保護者



募集の内容と条件

【募集内容】「忙しい朝でも簡単に作れる時短朝食」の
オリジナル料理1品のレシピ(2人分)と写真

【募集条件】

- ①子供が調理に関わること
- ②千葉県産食材を1つ以上入れて、地産地消を意識すること
- ③1食500円以内で作れること
- ④調理時間は15分以内(炊飯や下ごしらえ、後片付けの時間は含めず
大人一人で行った場合の調理開始から完成まで)とすること



優秀作品はレシピ集に掲載します



応募方法

応募用紙(ホームページよりダウンロード)と完成した料理・子供が調理している様子
(手元のみ可)等の写真3~5枚程度を郵送・メールにより提出してください。



問い合わせ先

千葉県 農林水産部 安全農業推進課 食育推進班
〒260-8667 千葉県千葉市中央区市場町1-1
TEL: 043(223)3092 FAX: 043(201)2623
Eメール: syokuiku@mz.pref.chiba.lg.jp

詳しい内容はHPに掲載している「親子料理コンテスト」実施要領を御覧ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/annou/shokuiku/oyakoryouri/index.html>

千葉県 親子料理コンテスト 検索

↓ホームページ



千葉県・千葉県教育委員会

